

**製品名: CASP3 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81443**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	31.6kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CASP3
別名	CPP32; SCA-1; CPP32B
遺伝子 ID	836.0
SwissProt ID	P42574
免疫原	大腸菌で発現したヒト CASP3 (AA: 29-175) の精製された組み換え断片。

**背景**

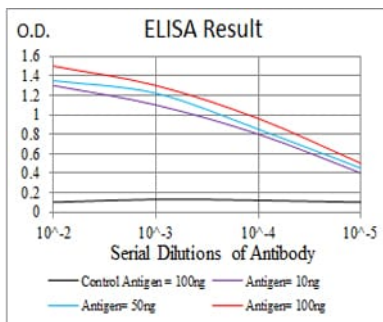
この遺伝子は、システイン-アスパラギン酸プロテアーゼ（カスパーゼ）ファミリーに属するタンパク質をコードしています。カスパーゼの連続的な活性化は、細胞アポトーシスの実行段階において中心的な役割を果たします。カスパーゼは不活性なプロ酵素とし

て存在し、保存されたアスパラギン酸残基においてタンパク質分解を受け、大小 2つのサブユニットを生成します。これらのサブユニットは二量体化することで活性酵素を形成します。このタンパク質はカスパーゼ 6、7、9 を切断・活性化し、それ自体はカスパーゼ 8、9、10 によって処理されます。これは、アルツハイマー病における神経細胞死に関連するアミロイド  $\beta$ 4A 前駆体タンパク質の切断に関する主要なカスパーゼです。この遺伝子の選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする 2つの転写産物バリエーションが生成されます。

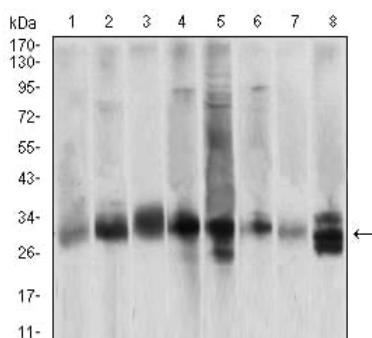
## 研究分野

アポトーシス、MAPK シグナル伝達経路

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



CASP3 マウス mAb を用いた Hela (1)、Jurkat (2)、HepG2 (3)、BCL-1 (4)、C6 (5)、SK-Br-3 (6)、NIH/3T3 (7)、A549 (8) 細胞溶解物に対するウエスタンブロット解析。